

# C 中川駅北コース

1:10,000  
0 100 200 300m

川崎市  
宮前区



③ みかん園

② 造園業の植木

道路に出たら  
すぐ細い道に入る

急坂登る

畑

行き過ぎ注意

狭くなる

中川市立牛久保配水池  
水道局



③ みかん園

④ 都筑区の最高地点  
(65m)

② 造園業の植木

水道局  
牛久保配水池

道路の下を通る

③ みかん園

④ 都筑区の最高地点  
(65m)

② 造園業の植木

スタート

ゴール

① 中川駅前のガラスドーム

中川駅前交番

郵便局

出口2を出て  
交番脇の階段を  
上がる

① 中川駅前のガラスドーム

スタート

ゴール

中川駅前交番

郵便局

出口2を出て  
交番脇の階段を  
上がる

⑨ くさぶえのみち

⑧ 長徳寺

⑦ 牛久保公園

急坂下る

視界がよい

見事な竹林

行き過ぎ注意

ひかりがおか公園

⑧ 長徳寺

⑦ 牛久保公園

トイレの約60メートル  
手前を右折、坂を上る

急坂登る

下小山歩道橋渡る

緩やかな坂下る





## 1 中川駅前のガラスドーム

駅周辺は「ネオ・ロマンチック」をイメージした街づくり協議地区となっており、交番や郵便局などユニークな建物がある。また、歩行者専用道路のガラスのドームは、地域のランドマークになっている。



## 2 造園業の植木

近年は土地開発が進み農業をする人が少なくなったが、昭和35年頃までは8割以上が農業で暮らし、米や野菜を栽培していた。40年頃になって住宅が急増え、野菜つくりから植木の生産地となった。



## 3 みかん園

都筑区には農業専用地区があり、さまざまな農作物を生産しており、牛久保ではみかん園を経営している農家がある。毎年、秋の収穫時にみかん狩りを行い、幼稚園の子どもたちや家族連れで賑わっている。



## 4 都筑区の最高地点

横浜市水道局牛久保配水池の付近は、海拔高度が65mあり都筑区で最も高い場所。都筑区のタウンセンターや遠くみなどみらい地区の高層ビルが望める。



## 5 ケヤキ通り

都筑区の北の端にあるすみれが丘は、昭和47年に山林、畑の起伏を生かして造成された。港北ニュータウンから北に向かって走るすみれが丘バス通りのケヤキ並木は、町の歴史とともに大きく成長した。



## 6 すみれが丘公園

山林や畑の起伏のある北から南に向かって、緩やかな斜面に造成されたすみれが丘の住宅地に造られた公園で、広い多目的広場がある。また南側には大雨の時、雨水を一時貯水して下流へ少しづつ流す「すみれが丘遊水地」がある。



## 7 牛久保公園

港北ニュータウンの開発によりできた公園で、くさぶえのみちの緑道に接している。公園は二つに分かれ西公園は野球・サッカーのグラウンドを兼ね、東側の公園は見晴らしのよい高台となっている。



## 8 長徳寺

本堂前の庭園は13重の塔をとり囲むように、松や梅、銀杏、山紅葉など多くの植木が手入れされ、植木と石の庭は水墨画のような流れを見せる。特に山紅葉は古木名木に指定されている。



## 9 くさぶえのみち

「山崎公園」「牛久保西公園」から「牛久保公園」「徳生公園」へと続く緑道。広がりがあり緑道というより、せせらぎのある谷や池のある広場という感じ。途中にあずまやがある。



中川駅近くの日曜朝市

## 中川の地名

ブルーラインの中川駅や中川の町は西の方にあるのに、中川小学校と中学校はずっと東の中原街道の近くにある。これは、昭和14年横浜市に編入される時、中川村の大棚は二つの町に分かれることになった。村人は相談した結果、「役場や小学校があり村の中心だった方に由緒ある中川の名をつけよう」と東側に中川町、西側に大棚町とすることにしたが、何かの手違いで逆になってしまったといわれている。

## 中川地区の農業

今では農業をする人はとても少ないが、昭和35年頃までは80%以上が農業で暮らしていた。明治から大正時代までずっと米、麦が作物の中心だったが、関東大震災のころから野菜の栽培が盛んになり、東京、横浜の市場で、中川は「近郊野菜の産地」として知られた。特にタケノコは有名で、中川中学校の校章にも使われている。今は牛久保町の農業専業地区で主に野菜が栽培され、日曜日に中川駅の近くで新鮮な野菜を売る朝市が開かれている。

